

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月10日

上場会社名 はごろもフーズ株式会社
 コード番号 2831 URL <http://www.hagoromofoods.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(氏名) 溝口 康博
 (氏名) 山本 信明
 配当支払開始予定日

TEL 054-354-5000
 平成20年12月8日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
21年3月期第2四半期	41,502	—	192	—	840	—	423	—
20年3月期第2四半期	41,830	△0.6	△361	—	189	△74.6	101	△79.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	20.62	—
20年3月期第2四半期	4.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
21年3月期第2四半期	45,658	20,840	45.6	1,015.32
20年3月期	46,193	21,131	45.7	1,029.36

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 20,840百万円 20年3月期 21,131百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
21年3月期	—	7.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	80,500	100	1,200	700	34.10
	0.5	143.9	35.6	109.6	

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	20,650,731株	20年3月期	20,650,731株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	124,214株	20年3月期	121,739株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	20,527,946株	20年3月期第2四半期	20,530,429株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(参考)

平成 21 年 3 月期の個別業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,100	0.0	300	167.9	1,100	77.7	600	62.6	29.23

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループでは、消費の低迷や原材料価格の高止まりなどによる厳しい経営環境のなか、「キッチンと！」をキーワードに製品の価値を直接消費者にアピールする販売促進活動を実施して需要の喚起に努めました。前期に実施した価格改定による新価格は相当に浸透して一定の効果がみられたものの、販売数量の減少を補えず、売上高は415億2百万円（前年同期比0.8%減）となりました。販売費などの諸費用の節減もあり営業利益は1億92百万円（前年同期は3億61百万円）となりました。(株)マルアイ他の株式取得にともなう負ののれん償却額2億51百万円を営業外収益に計上し、経常利益は8億40百万円（前年同期は1億89百万円）、四半期純利益は4億23百万円（前年同期は1億1百万円）となりました。なお、当連結会計年度より四半期連結財務諸表規則を適用しているため、前年同期業績および比較増減については参考として記載しています。

製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

（単位：千円、％）

製品群			期別	前年同期（参考）		当第2四半期（累計）		増減	
				金額	構成比	金額	構成比	金額	率
製品	家庭用食品	ツナ	18,855,712	45.1	18,562,538	44.7	293,173	1.6	
		デザート	3,037,066	7.2	2,623,948	6.3	413,117	13.6	
		パスタ&ソース	3,143,162	7.5	4,220,779	10.2	1,077,616	34.3	
		総菜	3,419,631	8.2	2,925,746	7.0	493,885	14.4	
		花かつお・海苔・ふりかけ類	3,107,285	7.4	3,433,824	8.3	326,539	10.5	
		ギフトセット・その他食品	2,495,605	6.0	2,410,399	5.8	85,206	3.4	
		計	34,058,464	81.4	34,177,236	82.3	118,771	0.3	
	業務用食品		5,826,633	13.9	5,593,027	13.5	233,606	4.0	
	ペットフード・バイオ他		1,330,180	3.2	1,322,775	3.2	7,405	0.6	
	計		41,215,278	98.5	41,093,039	99.0	122,239	0.3	
その他	不動産賃貸他	615,386	1.5	409,316	1.0	206,070	33.5		
合計			41,830,665	100.0	41,502,355	100.0	328,309	0.8	

（注）上記金額は消費税等を含みません。

「ツナ」では、きはだ鮪製品から販売促進の重点をシフトしたかつお製品は、新製品「シーチキンPLUS」シリーズもあって好調に推移しましたが、きはだ鮪製品の落ち込みを補えず、当製品群の売上高は前年同期比1.6%減少しました。「デザート」では、輸入フルーツが低調な販売となり、当製品群の売上高は前年同期比13.6%減少しました。「パスタ&ソース」では、パスタの価格改定効果に加え積極的な販売促進活動により、当製品群の売上高は前年同期比34.3%増加しました。「総菜」では、「シャキッとコーン」や青魚の「健康」シリーズの販売が低調で当製品群の売上高は前年同期比14.4%減少しました。「花かつお・海苔・ふりかけ類」では、かつおパック、味付けのり、ふりかけ類を中心に販売促進機会の増加等により、当製品群の売上高は前年同期比10.5%増加しました。「ギフトセット・その他食品」では、総じて加工食品ギフトの需要が低迷したこともありギフトセットの販売が振るわず、当製品群の売上高は前年同期比3.4%減少しました。「業務用食品」では、主力のツナ、スイートコーンなどの外食向けの販売が低迷し、当製品群の売上高は前年同期比4.0%減少しました。「ペットフード・バイオ他」では、ペットフードは取扱店の増加で販売が好調に推移しましたが、バイオでは原料入荷量の減少が販売量の減少につながり、当製品群の売上高は前年同期比0.6%減少しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より5億34百万円減少して、456億58百万円となりました。これは、主に売掛債権が8億8百万円増加したものの、株式市況の悪化により投資有価証券が9億73百万円減少したことや有形固定資産が2億16百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より2億43百万円減少して、248億17百万円となりました。これは、主に買掛債務が17億64百万円増加したことや販売促進引当金が10億70百万円増加したものの、長短借入金が17億40百万円減少したこと、未払金が9億30百万円減少したこと、負ののれんを2億51百万円償却したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より2億90百万円減少して、208億40百万円となりました。これは、主に利益剰余金が2億69百万円増加したものの、投資有価証券の含み益が減少したことによりその他有価証券評価差額金が5億88百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の45.7%から45.6%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の通期連結業績予想は、平成20年10月31日に発表のとおり、売上高805億円（前期比100.5%）、営業利益1億円（前期比243.9%）、経常利益12億円（前期比135.6%）、当期純利益7億円（前期比209.6%）を見込んでいます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

販売奨励金の算定方法

当社の未払い販売奨励金の一部は、販売数量を基礎とした合理的な方法により算定し、販売促進引当金として計上しています。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しています。

(3) 四半期連結財務諸表に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

棚卸資産の評価基準および評価方法の変更

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として月次総平均法による低価法によっていましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことにともない、主として月次総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しています。

これにより当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ18,112千円減少しています。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,684,937	1,547,162
受取手形及び売掛金	14,624,816	13,816,662
商品	59,071	75,977
製品	5,554,049	5,744,361
半製品	397,636	383,469
原材料	3,494,359	3,342,458
仕掛品	220,620	193,098
その他	1,714,052	1,971,096
貸倒引当金	21,917	18,697
流動資産合計	27,727,627	27,055,589
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,947,669	4,946,334
その他(純額)	5,691,907	5,910,107
有形固定資産合計	10,639,577	10,856,442
無形固定資産	344,743	354,961
投資その他の資産		
投資有価証券	6,580,213	7,553,506
その他	383,845	397,754
貸倒引当金	17,150	25,150
投資その他の資産合計	6,946,909	7,926,110
固定資産合計	17,931,229	19,137,513
資産合計	45,658,856	46,193,103
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,605,070	13,840,160
短期借入金	681,660	2,081,660
未払金	2,568,419	3,498,989
未払法人税等	296,753	143,408
販売促進引当金	1,137,628	67,327
その他の引当金	559,056	488,608
その他	579,445	590,473
流動負債合計	21,428,035	20,710,627
固定負債		
長期借入金	427,510	768,340
退職給付引当金	368,549	348,877
役員退職慰労引当金	483,614	476,559
負ののれん	755,427	1,007,236
その他	1,354,836	1,749,781
固定負債合計	3,389,937	4,350,794
負債合計	24,817,973	25,061,422

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,549	942,549
利益剰余金	16,680,638	16,411,221
自己株式	123,058	120,716
株主資本合計	18,941,798	18,674,723
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,279,650	2,867,694
繰延ヘッジ損益	38,425	89,264
為替換算調整勘定	342,139	321,472
評価・換算差額等合計	1,899,084	2,456,956
純資産合計	20,840,883	21,131,680
負債純資産合計	45,658,856	46,193,103

(2) 四半期連結損益計算書
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)
売上高	41,502,355
売上原価	28,810,547
売上総利益	12,691,807
販売費及び一般管理費	12,499,290
営業利益	192,517
営業外収益	
受取利息	487
受取配当金	112,759
負ののれん償却額	251,809
持分法による投資利益	8,723
受取手数料	199,789
その他	171,225
営業外収益合計	744,794
営業外費用	
支払利息	14,397
その他	82,531
営業外費用合計	96,929
経常利益	840,382
特別利益	
貸倒引当金戻入額	141
固定資産売却益	1,699
投資有価証券売却益	72
受取補償金	7,212
特別利益合計	9,125
特別損失	
固定資産除却損	41,158
製品回収関連費用	75,806
特別損失合計	116,965
税金等調整前四半期純利益	732,542
法人税等	309,158
四半期純利益	423,384

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考】

前年同四半期に係る財務諸表

中間連結損益計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月30日)		
区分	金額(千円)		百分比 (%)
売上高		41,830,665	100.0
売上原価		29,113,179	69.6
売上総利益		12,717,485	30.4
販売費及び一般管理費		13,079,156	31.3
営業損失		361,671	0.9
営業外収益			
1 受取利息	545		
2 受取配当金	124,789		
3 負ののれん償却額	251,809		
4 持分法による投資利益	14,629		
5 手数料収入	145,571		
6 その他	105,534	642,880	1.6
営業外費用			
1 支払利息	22,141		
2 原材料処分損	19,719		
3 賃貸収入原価	9,631		
4 その他	40,374	91,867	0.2
経常利益		189,342	0.5
特別利益			
1 貸倒引当金戻入益	6,095		
2 固定資産売却益	7,916	14,012	0.0
特別損失			
1 貸倒引当金繰入額	2,050		
2 固定資産除却損	21,516		
3 固定資産売却損	364		
4 投資有価証券評価損	46,345	70,275	0.2
税金等調整前中間純利益		133,079	0.3
法人税、住民税及び事業税	19,728		
法人税等調整額	12,321	32,049	0.1
中間純利益		101,030	0.2

平成21年3月期 第2四半期決算短信(連結)補足説明

1. 売上高・利益の増減要因等

当連結会計年度より四半期連結財務諸表規則を適用しているため、前年同期業績および比較増減については参考として記載しています。

(単位: 百万円, %)

	前年同期 (参考)	当第2四半期 (累計)	前年同期比		前年同期比増減要因等
			金額	率	
売上高	100.0 41,830	100.0 41,502	328	99.2	販売函数 8.8% 製品群別売上高 ・総菜 14.4% 493百万円 ・デザート 13.6 413 ・ツナ 1.6 293 ・業務用食品 4.0 233 ・パスタ&ソース +34.3 +1,077 ・花かつお・海苔・ふりかけ類 +10.5 +326
売上原価	69.6 29,113	69.4 28,810	302	99.0	・売上原価率: 原材料価格は上昇したが価格改定効果により 0.2ポイント
売上総利益	30.4 12,717	30.6 12,691	25	99.8	
販売費及び一般管理費	31.3 13,079	30.1 12,499	579	95.6	・販売奨励金 2.9% 227百万円 ・広告宣伝費 21.3 133 ・一般管理費 3.5 106
営業利益	0.9 -361	0.5 192	554	-	
営業外損益	1.4 551	1.5 647	96	117.6	(収益) ・受取手数料 +37.2% +54百万円 ・その他営業外収益 +62.2 +65
経常利益	0.5 189	2.0 840	651	443.8	
特別損益	0.2 -56	0.2 -107	51	191.7	(損失) ・製品回収関連費用に75百万円を計上
税金等調整前四半期純利益	0.3 133	1.8 732	599	550.5	
法人税等	0.1 32	0.8 309	277	964.6	
四半期純利益	0.2 101	1.0 423	322	419.1	

設備投資額	339	202	137	59.6	無形固定資産含む
減価償却費	445	408	37	91.7	無形固定資産分含む

ご参考

(単位: 円/kg, %)

きはだ鮪価格	500.0	642.9	142.9	128.6	出所: 農林水産省「産地水産物流通統計」 各冷凍品の4~9月平均価格 (当社で月次価格を水揚量により加重平均した)
かつお価格	169.9	212.8	42.9	125.3	

２．販売費及び一般管理費の内訳

(百万円、%)

	前年同期 (参考)	当第2四半期 (累計)	増減額	前年同期比
販売奨励金(引当金繰入額含む)	7,823	7,595	227	97.1
広告宣伝費	626	492	133	78.7
荷造運賃	1,252	1,156	95	92.3
保管料	349	334	15	95.5
役員報酬	183	165	17	90.5
給料手当	937	914	22	97.6
賞与引当金繰入額	262	260	1	99.3
退職給付費用	81	84	2	103.6
旅費交通費	171	164	7	95.6
減価償却費	135	113	21	83.7
賃借料	268	250	18	93.2
研究開発費	108	113	4	104.5
その他	880	855	25	97.2
合計	13,079	12,499	579	95.6